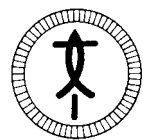


常磐会報



Vol.54
December
2023

英知 創造 敬愛

今こそ 京都



目次

常磐会会長・校長ごあいさつ	2
令和5年度常磐会総会によせて	3
卒業生からのおたより	3~5
恩師からのおたより	5~6
京都高校の近況報告	7
コラム「校史を読む」	8
スマホアプリ決済について	8





ごあいさつ

常磐会会長 和田 雄二
(高校31回生)

常磐会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。会長としての実質一年目を大過なく務めることができましたのも、会員の皆様方の多方面からのご協力の賜物であると、心よりお礼申し上げます。今後も、常磐会の「常磐」が意味する「永久不変」の歴史と伝統を引き継ぎ、熟慮断行の精神で臨んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

また、本年度総会の開催にあたり、コロナ禍が過ぎたとはいえ、まだまだ物価高騰などの影響が続く大変な状況の下、快くご協賛いただきました皆様に対しまして、心よりお礼申し上げます。皆様のご厚意は、総会事業の運営、現役京都高校生への援助にと、大切にに使わせていただきます。誠にありがとうございます。

さて、2020年1月から、新型コロナウイルス感染症のまん延による、いわゆる「コロナ禍」が3年以上続き、その間常磐会も総会事業を縮小し、息をひそめる日々が続いていましたが、本年5月にWHOの非常事態宣言が解除され、また感染症法上の分類が2類から5類へ移行され、いよいよ世の中はアフターコロナへ動き始めました。

常磐会総会事業におきましても、本年度は4年ぶりにすべての事業を通常通りのスケジュールで実施する予定であり、長かつた規制からの解放に、ホッと安堵する思いであります。

さて、昨年度より、来年度発行予定の「令和6年版常磐会会員名簿」の作成作業に取り掛かっています。5年に一度の発行であります。5年に一度の発行であり、役員名簿は同級生をつなげる根幹を成すものであり、その発行は常磐会の重要な事業の一つでありますので、ご協力をよろしくお願いたします。住所等の確認作業は名簿作成業者に委託して行っていますが、個人情報取扱いには万全を期して取り組んでまいりますので、どうぞ安心してご協力ください。また、昨年度開設しました常磐会ホームページからも名簿の修正等ができるようになっておりますのでご利用ください。

最後にありますが、アフターコロナに向けて頑張る母校京都高校のさらなる躍進と、同窓会常磐会のますますの発展、あわせて本年度常磐会総会の盛会を祈念し、私のごあいさつとさせていただきます。

○常磐会公式ホームページURL

<https://dousoukai.site/miyako-tokiwakai/>



ごあいさつ

校長 執行 和彦
(高校34回生)

令和5年度常磐会総会の開催、誠にありがとうございました。

私は、昨年度から引き続き校長を務めさせていただいております執行と申します。常磐会の皆様におかれましては、日頃から物心両面におきまして温かいご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、皆様のご支援により、本校の教育活動がますます充実してきておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、長いコロナとの戦いを抜け、学校も今年度は平常を取り戻してきました。全日制の大きな行事として6月の体育大会は、例年にも増して見ごたえのある素晴らしいものとなりました。また、この記事を書いている時点では実施前ですが、総会前日の文化祭も非常に素晴らしいものとなっていると思います。

常磐会総会におかれましても、本年度は大きな制限もなく、コロナ前の形で実施されているものと思われまます。実行委員長をはじめとする実行委員の皆様、総会当日まで、本当にお疲れさまでした。私もこの実行委員を経験しておりますが、実行委員を経験して、本当に同窓の絆が深まると感じています。また、実行委員の皆様が頑張りが、母校への支援の最も中心に直結していることも、本当に感謝しております。

都」として、体育大会も文化祭も捉えているのではないかと思います。体育大会に象徴されるように、生徒たち自身の様々な活動（勉強も含め）も新たに京都の歴史を紡いでいくものと思います。そういった意味で在校生には期待するところ大です。

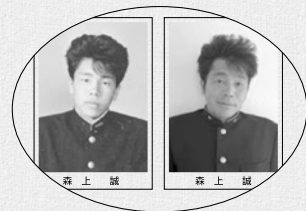
また、定時制におきましても、様々な学校行事を実施することができるようになってきています。特に、今年度は、生徒会の活動が活発で、自ら率先して自主的な活動に取り組む姿をみることができまます。

現在の本校の教育活動は、昔（私の世代あたりでも）を思い出すと全く違ったものとなってきていると感じます。今の生徒たちが出ていく社会は、不確定で変化の激しい社会になると考えられ、そのような社会を生きていく力が問われています。本校全日制、定時制、いずれの生徒を見ても、これからの社会で活躍できる大きな可能性を持っていると感じます。

そのような生徒たちの進路実現に向けて職員一丸となって支えていく所存でありまます。生徒たちが自らの希望する進路を実現し、自分の未来を切り拓いていく第一歩を踏み出すことを願ってやみません。常磐会の皆様におかれましては、京都奨学会を通じて、奨学金の授与をはじめ、例年大きな支援をいただいております京都研修等、様々な場面で、学校では補うことのできない大きなご支援をいただき大変感謝しております。今後とも、より一層のご支援を賜りますことをお願いし、常磐会並びに母校京都高校の更なる発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和5年度

常磐会総会によせて



実行委員長 森上 誠 (高校43回生)

「本年も常磐会に多大なるご支援賜り、心から感謝申し上げます。」

2023年常磐会総会実行委員の高校43・56・68回生、定時制高校30回生を代表して、この言葉をお伝えさせていただきます。卒業後、行橋を離れた私は、ほぼ母校のことを考えることもなく、常磐会の回生代表であることも意識していませんでした。この点については、お詫び申し上げます。

代表としての私自身の役割に関してはさておき、実行委員に参加してくれた仲間たちには感謝の気持ちでいっぱいです。

最初は「なぜこんな面倒なことをするのだろう」という正直な気持ちでしたが、活動を重ねるごとに心境が変わっていきました。総会誌の協賛広告や記念行事の入場料で集まったお金は、京都高校奨学会の支援金となり、在学生や未来の京都生の一助となります。この事実を知り、やる気を出すことができました。

また、記念行事では、京都大学の先生となった同級生が講話を行うことが決まりました。彼は私たちの誇りであり、心地よい「京都」の存在です。当時を知る同級生たちだけでなく、先輩や後輩にも是非とも聞いていただきたいです。これによって、私たちは

さらに力を発揮できるでしょう。

ところが、このような私の心境の変化をうまく同級生に伝えることができず、実行委員会には人が集まりませんでした。例年通り定期的に会議を行っているものの、参加者は1桁人数にとどまることも多々ありました。しかし、その少ない参加者の中には元ラグビー部員が4人もいます。

私が京都高校に入学し、ラグビーと出会った昭和末期は、第二次ベビーブーム世代で、テレビドラマ「スクールウォーズ」の影響なのか、ラグビー大國福岡県の多くの高校にラグビー部があり、京都高校にもありました。ラグビーは自己犠牲の精神で成り立つと言われています。自分が倒されても、後に続く誰かがボールを前へ進めてくれればよい。そんな単純なルールの中に、深い哲学が宿っていました。

「One for all, All for one」ラグビーの精神を象徴する言葉です。この言葉は、チームワークと連携の重要性を教えてくださいました。「1人はチームのために、チームは目標(勝利)のために」。仲間との絆は時間を超えて続き、今でも心に深く刻まれています。ラグビーを通じて、私は仲間たちとの絆や協力の大切さを学びました。そして、50歳になった今、それを再確認し、勝利目前です。

仕事や家庭の忙しさの中で、私たちの素晴らしい母校の発展のために、貴重なプライベートの時間を捧げてくださったすべての方々に、再度、心から感謝申し上げます。「本当にありがとうございます」。

私たちはボールを後ろに繋ぎ、誰かが受け継ぐためにしっかりと渡します。そして、母校のさらなる発展を心から祈ります。

卒業生からの おたより1



女学校最後の卒業生、よい出会いを重ね

高女30回生 品川 洋子



谷崎潤一郎新訳「源氏物語」第一巻 現在全巻を保有

京都高校百年、常磐会員三万余人、見事なことと喜びお祝します。私は戦中戦後を挟んだ女学校最後の卒業生で、卒寿を超えています。印象に残ることは多々あり、良いことばかり、少々書いてみます。

第三代合屋武城校長先生と対談、実は話を拝聴する

思いがけず朝日新聞社の「先輩・後輩」の企画により、教育系学校の先輩合屋先生と、後輩としての私が学生代表としてお会いすることになりました。

昭和二十六年、私は福岡学芸(現教育)大学の三年次生で、文字どおり五十歳ぐらいの開きがあったと思います。私の母は京都高女六回卒業生で、合屋校長を尊敬を込めて話すのを聞いていました。対談と言っても、ほとんど先生の話をお聴するばかりでした。対談テーマが京都高女でなかったのは残念でしたが、「童顔の合屋校長紀元節」(杉田久女)の温顔に接することができました。

第八代荻原豊校長先生の授業で本物を知る

荻原豊校長は、戦後としてはじめての校長でした。私は女学校四年生で、ようやく授業に活気が出るころ、校長先生の授業がありました。「源氏物語」の何帖といつてもテキストも資料も無く、ただ校長先生の朗々たるお声ばかりでした。それでも近代文学や泰西名詩などを紹介され、本物と文学の香りに触発されました。

私は本文無しではと想っていたところ、戦後初の谷崎潤一郎の新訳源氏物語が出版され、手にしました。

それから私は女学校卒業後、新学制の大学に進学し、北九州市で中学校長になった時、読書による校長講話、全校一斉読書など、生

徒に直接語りかけをしました。

ロールモデルになる素敵な女の先生に出会う

女学校で女の先生は家事、裁縫など実技を伴う科目が多かった中で、一人の若い女の先生が保健救護や家政など、国語、数学のような濃厚な授業をされていました。この女学校から難関校を卒業し、母校の先生になつていたのでした。

私と周辺の生徒は、授業と謙虚な人柄に魅せられ、源氏物語の「何々の君」のように「あこがれの君」と呼んでいました。

母校の教師になつている素敵な先生は、私のロールモデルでした。私も教師になつたら、ロールモデルにならなければとつとめましました。

同窓会は横断、縦断する交点の良さがある

私は教職定年退職後、京都高校同窓会副会長を第二十三代校長のころから令和の始めごろまで務め、毎年、卒業式と同窓会入会式に出席させていただいています。

印象的だったのは、第二十六代校長先生の式辞で、芳醇なワインは、肥沃な土地でなく、雨量が少なく岩石の多い土壌で遅く育った葡萄からできるとい話をされ、激励を贈っていました。また五十五回生の答辞は定形通りでなく、生き生きと三年間を語っていました。京都高校の卒業生はこのような校長式辞、卒業生答辞で温かく力強く果立っています。

ところで、昨年の常磐会総会誌にその五十五回卒業生代表が近況報告として、頼もしく成長していることを知りました。同窓会の横断、縦断の良さだと思えます。

同窓会の皆様、同窓会の良さに浸って、お元氣にお過ごしください。

卒業生からの
おたより2失敗から学んでいけば
絶対大丈夫

高校43回生 高松 栄伸

京都高校は伝統がありとても優秀な方が集まる学校です。社会的に成功されている方も多くいらっしゃいます。そんな中、成績優秀ではなかった私でもこういった幸せがあるというお話ができればと思い、今回筆を取らせていただきました。

失敗は成功の元と言いますが、自分の人生を半分以上生き、その事が体験を通じてようやく理解できるようになりました。人生の中で失敗や挫折の数では誰にも負けない自信がありますが、最近では問題が起ると乗り越えて成長するチャンスが来たと思えるようになりました。もちろん問題が解決するまでは大変なのですが、大変さを楽しめるようになってきました。

50歳になりましたが、私の人生で初めての挫折は、京都高校で学んだ時でした。京都高校は歴史もあり優秀な方が集まっているので、まず始めは勉強についていけなくなり、成績はいつも下から数えた方がはやくらいでした。昔から足は速かったのですが陸上部に所属していましたが、これまたさぼりがちで熱心に取り組んではいませんでした。さらに一浪してしまい、時代の流れで何となく大学に行きましたが、それでも勉強に興味を持てずバイトばかりでした。その頃は勉強していい大学に入り、一流の会社に就職することが幸せだという時代だったので、自分は人生落第だなど思っていた時期もありました。まだまだ失敗は続くので、これはほんの序の口です。



将来に夢があるわけでもなく、やりたいことがあるわけでもない中、最初は会社の営業として就職しました。3年ほどで先輩のパワハラを苦に退職し、救急病院に転職しました。ここでも上司のパワハラに悩まされましたが、忙しい仕事の中にも楽しみを見つけて10年ほど続けました。仕事を続ける中で、自分で学んだ知識や技術を生かして悩んでいる人の役に立ちたいと思うようになり、ご縁があり西洋医学とは全く逆の全体の技術を学んで独立開業しました。

福岡市南区の閑静な住宅街に小さな整体院を開業して、今年でちょうど15周年になりました。その15年の間も一筋縄ではいきません。全体の技術にしても経営に関しても、何も知らずに飛び込んだので毎日が試行錯誤の連続です。馴染みのお客さんがついて安定してくるのに3年ばかりかかりました。失敗を全て書いていたら、とてもじゃないけど紙面が足りません。こんなに失敗しているのに、よく笑顔でいられるなど自分でも不思議です。でもこれは両親に愛されて育てられたお陰もあり、自己肯定感がまあまあ高かったからだと思っております。しんどいけど絶対大丈夫！がんばればどうにかなるから前進しようというも考えていました。どんなに悩んでいても、

食欲は落ちないし夜もぐっすり眠れます。本当に両親に感謝です。

2020年に新型コロナウイルスの流行で緊急事態宣言が出され、人の動きが止まりました。整体は直に触れるし、とても近い距離で施術を行うのももうお手上げです。開店休業状態で、毎日子供たちと公園で遊びながらも途方に暮

れていました。でも、これはまた成長するチャンスだと密かに思っていました。そんな中でもがきながら経営の勉強を続けたことで、大きく成長することができました。普通の町の整体院だったのが、コロナのお陰で会員制・完全紹介制の整体院として立ち直ることができました。今では口コミだけで営業できるようになり、いいお客さんだけに囲まれて毎日幸せに仕事をさせていただけるようになりました。

挫折だらけの人生でしたが、失敗から学んでいくことで何とかなるものです。論語の中に五十にして天命を知るとあるように、腐らず諦めず失敗から学びながら前進したことで、人に喜んでもらいながら幸せに仕事ができるようになりました。今では毎日が楽しくて、いい人ばかりに囲まれて仕事ができるようになり、感謝の毎日が送られています。50歳になり、これまでの失敗と挫折は今のためになったのかとやっと思えるようになりました。そう考えると失敗も挫折も悪くありません。失敗は成功の元、ピンチはチャンスです。必死にもがいて前進していれば絶対大丈夫！人生何とかなりますね。



同級生は違いますね。敬語も使わずすぐに馴染むことができました。みんなありがとう。

京都高校では勉強だけでなく色々教えていただいたと思います。コミュニケーション力であったり、組織作り(上下関係)、決断力、約束を守る等；社会適応能力を知らず知らずのうちに身につけることが出来たと感じます。

高校を卒業した私たちにはそれぞれに「どのよう社会に役立つのか」という「宿

卒業生からの
おたより3

宿題

高校43回生 角田 純代

「えー誰なん？分からん」

から始まった令和5年度、常磐会総会実行委員でした。

私は被服科だったので、当時ほとんどの人と話したことがなかったため、30年以上ぶりに同級生と再会と言っても気分的には「初めまして」でした。しかし、さすがに



「課題」が課せられているのではないのでしょうか。人は一人では生きていけません。みんな人と関わり生きています。私は現在、リンパサロンを経営しています。体に溜まった老廃物を流し体の調子を整えるお仕事です。リラクゼーションだけが目的ではなく、免疫力アップ、疲労回復、首肩こり、冷え解消など循環が良くなるため様々な効果が生まれます。

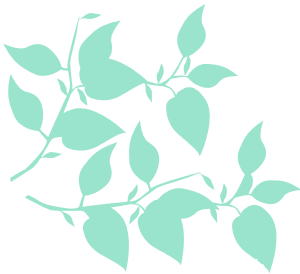
行橋市もそうですが、超高齢社会に突入しています。平均寿命は伸びていますが健康寿命（介護を受けず健康である状態）との差が男女とも10年以上あります。言わば10年以上は介護が必要ということです。（国は2019年に「健康寿命延伸プラン」を策定。2040年までにこの差を3年以上縮めることを掲げている）

私の仕事は健康状態を改善したり、維持することが目的です。

一人でも多くの方が健康で生き生きと暮らせる世の中になるように願ってこの仕事を選びました。

しかし、2019年からコロナ禍になり3密を避けられない私の仕事は開店休業状態に陥りました。落ち込んでも仕方ない！とすぐに前向きになれたのも、今までに培われた思想や環境のおかげだと思えます。時間はたつぷりあります。こんな時だから、何か自分にできることはないだろうか？恩返しができるだろうか？と考えることができました。そしてサロンに来なくても綺麗になれる、アトピーの私でも安心して使える化粧品を作ろうとオリジナルブランドを立ち上げることができました。

日々変化する時代に、自分がどうあるべきか？まだまだ「宿題」が残されている気がします。今まで学んだことは何一つ無駄でなく、絶対に役立つ日が来ると信じています。これからも仲間を大切に、そして母校、地域に恩返しをしていきます。



Message from Teacher

恩師からの
おたより1

43回生 3年4組担任

松尾 寿美 先生

常磐会総会の開催を心よりお慶び申し上げます。特に四十三回生の皆さん、公私ともに多忙な中、筆頭当番回生として尽力されていることに対し、敬意を表します。

京都高校は私が教員になり、二校目の学校でありました。四十三回生の皆さんは、京都高校での初めての担任でした。また、私自身、二十代後半で生後六か月の長男がいる状態での担任生活のスタートでした。多分、皆さんにはとても厳しい先生として心に残っていると思います。あの頃の京都高校の進学体制の中、皆さんをどう引っ張っていくかが私の課題でした。今では全力で皆さんにぶつかって過ごした三年間が懐かしく思い出されます。

その後、京都高校には十四年間、勤務しました。次に豊津高校（現 育徳館高校）に転勤し、そこで十二年間勤務し、早期退職しました。退職後は、北九州予備校の講師となり、八年程勤めました。二〇一六年には、主人のアメリカ赴任に同行し、海外生活も経験しました。今は、働く娘のため、孫の面倒をみながら、のんびり暮らしています。当時、幼い子供を母に預けて働いたお返しをしています。

最後になりましたが、常磐会及び京都高校の益々のご発展と常磐会の皆様のご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げます。

恩師からの
おたより2

43回生 3年5組担任

山本 義昭先生



皆さんお元気ですか。お久しぶりです。保健体育科の山本義昭です。寄稿依頼いつかはくるんじゃないかと思っていました。早速、近況から行きたいと思えます。66歳の高齢者になりました(昭31・11・23生)。

無職、サンデー毎日の生活です。日課にしているのは、愛犬との朝夕の散歩です。今年8月で11歳になる黒茶のミックス(豆柴とビーグル)体重10kg程の小中型犬です。雨天時は行きたがりません。長い時は1時間以上の時もあり、いい気分転換になっています。朝の散歩後はだいたいテレビの情報番組を見ている。ラヴィット・もち浜ストア)午後から夕方までは「身体活動時間」です。家の雑用(庭の草木の手入れや片付け、ちよっとした買い物でスーパーへ等々)そのうち家庭菜園でもとは思っています。全くその気になりません。あとは、時々行くパチンコを楽しみにしています。(1パチしかしません)年金生活で一応小遣い制です。これは完全に遊び金、無駄遣いですね。

昨年11月26日、日体大陸上部の同期会が

横浜で行われました。夏の頃、突然知らせの手紙が来ました。広島同期生が発起人で「我々も高齢者になったので…」という内容でした。「コロナ時世で各自の判断」という文面もあり、横浜という事で迷いましたが、卒業以来初めての事でしたので嬉しさと喜びで参加の決心をしました。前日の25日から翌日の27日までの泊3日、旅行会社に頼んで、一人旅行に行つて来ました。小倉から久しぶりの新幹線。念のため二重マスクをし10時半乗車。駅弁、缶ビールロング2本、つまみ。富士山に感動。3時過ぎに宿をとっていた品川に到着。場所や方角に全く自信がないため横浜の会場へ予行を決行。予め会場に問い合わせ。地下鉄「みなとみらい線」の最寄り駅から歩いて3〜4分との事。ネットで調べても同様の事が記してあった。宿を出たのが4時頃、週末でもあり、人の多さにビックリしながら何とか最寄り駅に着く。地上に出ると夕暮れでかなり暗い。福岡より30分ぐらい日没が早いので、5時過ぎの街は方角が全くわからん。スマホでナビを見ても自分がどっちを向いているかわからず、右往左往、通りすがりの人に聞いたりしながら、20分以上かかり到着(汗だく)。当日、はとバスツアー(スカイツリーと浅草)。夕刻、無事に会に参加し楽しい時を過ごした。良かった!!

京都高校での19年間の思い出。課外、久住キャンプ、京都体操、狭い運動場での部活、手厚い制裁指導、国公立への異常な拘り、私も含めて皆さんよく頑張りましたね。今となつては過去の話。たいへんお疲れさまでした。

恩師からの
おたより3

いま、思つこと

43回生 3年10組担任

有賀 明子先生



今夏も常磐会総会が当番回生のご努力により開催されますこと心よりお慶び申し上げます。総会実行委員会の皆様には格別のご尽力をいただき感謝いたしております。当番期43回生の皆さん、卒業後32年の月日が流れましたね。その間、それぞれの人生をしっかりと歩まれて今日を迎えていらっしゃることでしょう。50歳という年代は社会人としても家庭人としても重鎮となる時期、きつと充実した毎日を送つておられることと想像しております。

卒業アルバムを眺めていますと、一人ひとりの表情やしぐさが蘇り、今にも声が聞こえてきそうです。当時の被服科は授業のほかは技術検定などもあり、実技科目の宿題も多く3年間よく頑張つてこられたと思えます。

私は京都高等学校を昭和31年卒業の8回生です。卒業して70年近くになります。当時はまだ戦後、京都高等学校から新制の京都高等学校にかわつたばかりで創設期の活気あふれた雰囲気がありました。恩師の先生方ほどの先生も個性豊かな独特の指導法で、それは熱心に指導してくださいました。今でも当時のことを懐かしく思い出します。

ます。それに引き換え、私は教師として力不足でした。「後悔先に立たず」です。お許しください。

私の近況は、昨秋行橋市から名古屋市中に転居しました。子ども達が私を心配して引き取ってくれました。ただ、もうしばらく自立した生活がしたくて同居ではなく、子ども宅からすぐ近くのマンションに移りました。引越しの時が病気をした後で大変でしたが、やっと落ち着き元気になりました。72歳までは短大等の非常勤として勤務していましたが、86歳を目前にした今は、毎日自分一人のための家事をゆつくりとしながら1日が過ぎていきます。週2日はハリハリ訓練を受け、補聴器もつけています。高齢になれば不自由なことも多々ありますが、明るく楽しく心をかけています。行橋を離れてみますと故郷が懐かしく「ふるさととは遠きにありて思ふもの、そして悲しくうたふもの・・・」室生犀星の詩「小景異情」の冒頭の言葉がいつも浮かびます。

名古屋は名古屋城をはじめ徳川美術館など見るところが多くあります。機会がありましたらぜひお立ち寄りください。そしてお声をかけていただいたら嬉しく思います。どうか皆さん、健康にはお気をつけてお幸せにお過ごしください。

母校であり、勤務校でもあった京都高等学校のますますの発展を特別の思いを持って見守っています。

常磐会総会のご成功を祈念しながら筆を置きます。



部活動活動状況

●主な戦績

※令和4年4月～令和5年3月までの期間での県大会以上

《 体 育 部 》

バスケットボール部

- 福岡県高校総体バスケットボール競技大会
県大会出場 女子（1回戦）
- 福岡県高校選抜バスケットボール選手権大会
県大会出場 女子（3回戦）ベスト16

陸上部

- 福岡県高校総体陸上競技対校選手権大会
県大会出場 男子走幅跳（1名）30位

バドミントン部

- 福岡県高等学校総合体育大会バドミントン選手権大会
県大会出場 男子団体

卓球部

- 福岡県高校新人卓球選手権大会
県大会出場 女子個人（2名）

水泳部

- ◎全九州高等学校選手権新人大会
九州大会 男子 50m自由形（1名）
九州大会 男子 100m自由形（1名）

《 文 化 部 》

書道部

- 福岡県高文連総合文化祭書道部門
県大会出場 創作部門（1名）

美術部

- 福岡県高文連総合文化祭美術・工芸部門
県大会出場 特選（1名）
奨励賞（2名）

吹奏楽部

- 福岡県高文連総合文化祭吹奏楽部門
県大会出場 銀賞

放送部

- 福岡県高校放送コンテスト
県大会出場 1名
- 福岡県高校放送コンテスト大会
県大会出場 2名

写真部

- 福岡県高等学校総合文化祭写真部門
県入選 特選（1名）

●令和5年度 部活動加入

体 育 部		男子	女子	計
1	バレーボール	18	15	33
2	バスケットボール	36	21	57
3	野 球	22	6	28
4	テ ニ ス	11	4	15
5	陸 上	6	0	6
6	柔 道	2	4	6
7	剣 道	7	4	11
8	サ ッ カ ー	27	3	30
9	バドミントン	31	27	58
10	バ ト ン	0	17	17
	ダ ン ス	0	25	25
11	水 泳	2	0	2
12	卓 球	1	9	10
13	空 手 道	1	1	2

文 化 部		男子	女子	計
1	演 劇	0	0	0
2	華 道	0	2	2
3	琴 曲	0	5	5
4	コ ー ラ ス	0	0	0
5	茶 道	0	5	5
6	写 真	9	9	18
7	囲 碁 ・ 将 棋	11	0	11
8	書 道	1	6	7
9	放 送	4	6	10
10	煎 茶	0	11	11
11	文 芸	3	5	8
12	美 術	2	12	14
13	吹 奏 楽	8	27	35
14	料 理	0	34	34
15	英 語 (E S S)	0	3	3
16	S G	0	5	5
17	科 学 同 好 会	1	2	3

	男子	女子	合計
部 員 数	203	268	471
生 徒 数	332	368	700
加 入 率 (%)	61.1	72.8	67.3

文芸部

- ◎福岡県高文連総合文化祭文芸部門
県大会出場 文芸部詩部門 優秀賞「葦」第63号

定時制
近況報告

はじめに、令和4年度の生徒の進路状況をご紹介します。令和4年度は、四年修了生十五名、三年修了生一名が卒業しました。十六名のうち、在学中の仕事継続している生徒もいますが、卒業後の進路は就職が十三名、進学が二名でした。つぎに、令和4年度の主な活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に、本校から二年生二名が出場しました。二名ともに、これまでの自身の経験をふまえて発表し、奨励賞を受賞しました。

部活動のうち、文化部関係では、北九州芸術祭総合美術展書道部門において、三年生五名が入賞し、一名が特選、一名が第六十回記念賞となりました。また、行橋市人権啓発作品（書道の部）において、四年生一名、二年生一名が入選となりました。さらに、福岡県高等学校書道教育研究会主催授業作品展では、三年生三名が優秀賞を受賞しました。

体育部関係では、福岡県高等学校定時制通信制体育大会夏季大会剣道大会において三年生一名が全国大会出場を果たし、団体戦で全国優勝しました。また、秋季大会剣道大会では、女子個人戦では三年生が優勝、一年生が準優勝、男子個人戦では、三年生が三位になりました。

本年度は、新入生十八名を迎え、全校生徒五十六名でスタートしています。生徒たちは、日々仕事に勉学に全力で励んでいます。

校史を読む

開校前史 山内 公二（高校11回生）

本校の開校は大正六年（一九一七）四月で、今年が開校一〇六年となる。平成二八年（二〇一六）一月二九日、創立一〇〇周年記念式典が盛大に挙行されたことは記憶に新しい。

本校図書館に、「福岡県立京都高等学校四〇年史」（昭和三四年発行）、「京都高等学校60年」（昭和五一年発行）、「七十年史（昭和六〇年発行）」、「京都高校八十年史」（平成八年発行）、「京都高校九十年史」（平成一八年発行）、「創立百周年記念誌」（平成二九年発行）がある。私は今回、改めて五冊の記念誌と「京都郡誌」を読み直してみた。

すると「女子中等教育の充実の機運が高まり、明治四十五年三月の京都郡議会で、郡立実業女学校二校の設立を決定。四月に行事と豊津の二校が誕生した」とあった。

しかし、開校した郡立行事実業女学校は延永村上津熊の行事実業女学校の校舎を間借りしたもので、十分なものではなかった。

大正四年から郡議会で、「新しい女学校の建設を」という議論が高まった。郡議会は、大正五年一〇月、県知事に対して、郡立女学校の設立を陳情した。続いて、近い将来、県立となる郡立京都高等女学校の設立を前提として、大正六年三月、行事実業女学校の廃校を決定。わずか五年で廃校となり、延永村の行事実業女学校に間借りして、大正六年四月、郡立京都高等女学校が開校。翌年四月、県に移管して福岡県立京都高等女学校が誕生した。

開校した学校は、行橋町大橋字欠塚に校舎を移すことになり、敷地四、二九五坪を地主二四人から買収。埋立て工事が行われ、大正九年九月に、下津熊の旧校舎から移転。すべての校舎が完成したのは大正二二年七月だった。

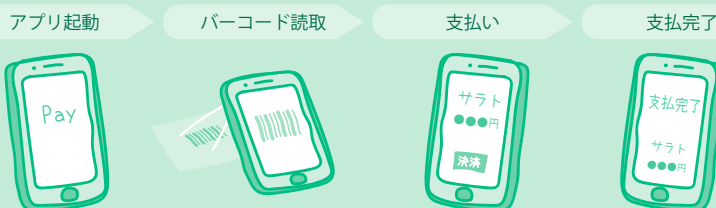
本校の創設に尽力したのは、当時の佐藤信寿京都郡長と井上貢行橋町長の二人だという。

スマートフォン決済について

・振込用紙に印字されたバーコードをアプリで読み取って、ご自宅から入金が可能です。

決済手順について

- ① スマートフォン等にスマートフォン決済アプリをインストールし、必要事項を登録します。
（アプリで納付に必要な金額をチャージします。）
- ② アプリの請求書払いを選択し、振込用紙に印字されたバーコードを読み込みます。
- ③ 払込金額を確認し、支払手続きを行います。
- ④ 支払手続きが完了すると、支払完了画面が表示されます。



ご利用いただけるスマートフォン決済アプリ



※利用方法の詳細については、各アプリ事業者のHP等をご確認ください。

※コンビニエンスストア・スマートフォン決済からご入金いただく場合は、通信欄がご利用できません。住所・氏名に訂正がある場合は、郵便局・ゆうちょ銀行をご利用いただくか事務局までご連絡ください。

※ご入金いただく際は、必ずお手元に届きましたご本人様の振込用紙を使用してください。

※スマートフォンアプリでの決済画面にてシステム代行会社「サルト」と表示されますが、「常磐会」の入会金・年会費で間違いございません。



郵貯での 払い込みについて ご注意ください。

令和4年1月から払い込み手数料が新設され、受取人が払込料を負担する（赤色の払込票で従来は手数料不要）の場合も、1件あたり110円の手数料が必要になりました。ただ、キャッシュカードや通帳を利用して払い込まれる場合は不要です。お持ちの方は是非ともご利用ください。

訂正・調査専用ページを 開設しました。

- ・同封の振込用紙のQRコードからご自身のページをご覧ください。ご自身の住所等の訂正の他、同級生等の住所不明者をご確認いただけます。
- ・住所不明者の新住所は必ずご本人様にご確認のうえ、常磐会事務局へお寄せください。

上記のコンビニ・スマートフォン決済につきましては、(株)サルトに委託しております。安心してご利用いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。